

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1 期、2024年度 2 期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	研究指導 英語学・英語教育学		

授業担当教員/Faculty	高梨 芳郎
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士後期課程での研究を深め、英語教育学に関する研究を円滑に実施できるように各期 1 5 回の授業（リサーチワーク）を行う。研究課題ごとに、研究テーマに則した研究計画を立て、先行研究の収集・分析を行い、研究仮説の設定、研究方法の決定、データ収集と分析、結果と考察、課題の整理などを適切に行えるように指導する。毎回の授業終了時に課題を出し、課題の報告を基に次回の授業を進めていく。これらの課題の結果を報告書にまとめて発表するように指導する。「論文指導」では、この報告書を精緻化して博士論文にまとめていく。</p> <p>両学期とも、初回～第 1 3 回まで、第 1 5 回の授業は対面で行う。第 1 4 回はオンライン（Google Meetでの同時双方向型）で行う。受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前にGoogle Meet のURLを連絡する。</p>
--	--

授業計画 / Schedule	<p>(1 期)</p> <p>第 1 回 授業の目標と概要 第 2 回 研究計画 第 3 回 先行研究の整理 第 4 回 先行研究の検討 第 5 回 研究仮説の設定 第 6 回 研究方法の検討 第 7 回 データ収集（予備研究） 第 8 回 データ収集（本研究） 第 9 回 データ分析 第 1 0 回 結果の整理 第 1 1 回 考察と課題 第 1 2 回 引用文献の整理 第 1 3 回 研究報告書の作成 第 1 4 回 研究報告書の検討 第 1 5 回 研究発表と課題の整理</p> <p>(2 期)</p> <p>第 1 回 授業の目標と概要 第 2 回 研究計画 第 3 回 先行研究の整理 第 4 回 先行研究の検討 第 5 回 研究仮説の設定 第 6 回 研究方法の検討 第 7 回 データ収集（予備研究） 第 8 回 データ収集（本研究） 第 9 回 データ分析 第 1 0 回 結果の整理 第 1 1 回 考察と課題 第 1 2 回 引用文献の整理 第 1 3 回 研究報告書の作成 第 1 4 回 研究報告書の検討 第 1 5 回 研究発表と課題の整理</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	<p>(参考書)</p> <p>Bachman, L, E (1990) Fundamental Considerations in Language Testing (Oxford Applied Linguistics) Brown, H.D.(2014), Principles of Language Learning and Teaching(6th ed.) Pearson Education, Inc. Dörnyei, Z (2001) Teaching and Researching Motivation (Applied Linguistics in Action) Pearson Education</p>
---	---

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1 期、2024年度 2 期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	研究指導 英語学・英語教育学		

授業担当教員/Faculty	佐藤 一嘉
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	博士後期課程での研究を深め、円滑に研究が実施できるようにリサーチワークを行う。研究課題ごとに、研究テーマに則した研究計画を立て、先行研究の収集・分析を行い、研究仮説の設定、研究方法の決定、データ収集と分析、結果と考察、課題の整理などを適切に行えるように指導する。毎回の授業終了時に課題を出し、課題の報告を基に次回の授業を進めていく。これらの課題の結果を報告書にまとめて発表するように指導する。「論文指導」では、この報告書を精緻化して博士論文にまとめていく
--	---

授業計画 / Schedule	第1, 2回 授業の目標と概要 (lesson objectives and overview) 第3, 4回 研究計画 (research plan) 第5, 6回 先行研究の整理 (organizing previous studies) 第7, 8回 先行研究の検討 (examination of previous research) 第9, 10回 研究仮説の設定 (developing research questions) 第11, 12回 研究方法の検討 (study of research methods) 第13, 14回 データ収集 (予備研究) (Data collection for a pilot study) 第15, 16回 データ収集 (本研究) (Data collection for a main study) 第17, 18回 データ分析 (Data analysis) 第19, 20回 結果の整理 (Results) 第21, 22回 考察と課題 (Discussion and issues) 第23, 24回 引用文献の整理 (References) 第25, 26回 研究報告書の作成 (Research report presentation) 第27, 27回 研究報告書の検討 (Research report review) 第29, 30回 研究発表と課題の整理 (Research presentation and future issues)
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書 (参考書) / Textbook/Reference Materials	教科書は使用しない。資料を配付する。 参考書については初回の授業で説明する。
--	---

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1期、2024年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	研究指導 英語学・英語教育学		

授業担当教員/Faculty	古村 由美子
----------------	--------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士後期課程での研究を深め、英語教育学に関する研究を円滑に実施できるように各期 15 回の授業（リサーチワーク）を行う。研究課題ごとに、研究テーマに則した研究計画を立て、先行研究の収集・分析を行い、研究仮説の設定、研究方法の決定、データ収集と分析、結果と考察、課題の整理などを適切に行えるように指導する。毎回の授業終了時に課題を出し、課題の報告を基に次回の授業を進めていく。これらの課題の結果を報告書にまとめて発表するように指導する。「論文指導」では、この報告書を精緻化して博士論文にまとめていく。</p> <p>両学期とも第14回の授業はオンライン（Zoomでの同時双方向型）で行う。受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前にZoomのURLを連絡する。</p>
--	---

授業計画 / Schedule	<p>(1期)</p> <p>第1回 授業の目標と概要 第2回 研究計画 第3回 先行研究の整理 第4回 先行研究の検討 第5回 研究仮説の設定 第6回 研究方法の検討 第7回 データ収集（予備研究） 第8回 データ収集（本研究） 第9回 データ分析 第10回 結果の整理 第11回 考察と課題 第12回 引用文献の整理 第13回 研究報告書の作成 第14回 研究報告書の検討 第15回 研究発表と課題の整理</p> <p>(2期)</p> <p>第1回 授業の目標と概要 第2回 研究計画 第3回 先行研究の整理 第4回 先行研究の検討 第5回 研究仮説の設定 第6回 研究方法の検討 第7回 データ収集（予備研究） 第8回 データ収集（本研究） 第9回 データ分析 第10回 結果の整理 第11回 考察と課題 第12回 引用文献の整理 第13回 研究報告書の作成 第14回 研究報告書の検討 第15回 研究発表と課題の整理</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応状況、レポートの成績を総合的に判断して行う。
------------------------------	---------------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	教科書は用いない。参考書は適宜紹介する。
---	----------------------

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1期、2024年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	研究指導 日本語学・日本語教育学		

授業担当教員/Faculty	坂本 正
----------------	------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	博士後期課程 2、3 年次の「研究指導」までに、研究テーマ、研究課題、先行研究の整理ならびに問題点の指摘、実行可能な調査方法の決定、収集した言語データ分析方法し、調査を開始し、言語データを分析し始めて、初稿まで完了した。今学期は更に継続して、分析データの解釈の妥当性を探究し、わかりやすい博士論文全体の構成を再考することを目標にする。
--	---

授業計画 / Schedule	<ol style="list-style-type: none"> 1) 論文全体のフローチャートの作成 2) 第 1 章「はじめに」の原稿のフィードバックと加筆修正 3) 第 2 章「先行研究」の原稿のフィードバックと加筆修正 4) 第 3 章「調査」の原稿のフィードバックと加筆修正 5) 第 4 章「結果」の原稿のフィードバックと加筆修正 6) 第 5 章「考察」の原稿のフィードバックと加筆修正 7) 第 6 章「結論」の原稿のフィードバックと加筆修正 8) 図表、参考文献リスト、注、資料のフィードバックと加筆修正 9) 第 1 章「はじめに」の修正原稿のフィードバック 10) 第 2 章「先行研究」の修正原稿のフィードバック 11) 第 3 章「調査」の修正原稿のフィードバック 12) 第 4 章「結果」の修正原稿のフィードバック 13) 第 5 章「考察」の修正原稿のフィードバック 14) 第 6 章「結論」の修正原稿のフィードバック 15) 図表、参考文献リスト、注、資料の修正原稿のフィードバック 16) なし
-----------------	--

成績評価基準 / Assessment criteria	博士論文の進捗状況と内容の深化・進化の程度
------------------------------	-----------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	特に無し
---	------

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1期、2024年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	
授業名 / Subject	研究指導 日本語学・日本語教育学		
授業担当教員/Faculty	坂本 正		
授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	博士後期課程 1 年次の「特殊講義Ⅰ、Ⅱ」に続く科目で、研究テーマ、研究課題、先行研究の整理などを踏まえて、実際に博士論文の中核となる、実行可能な調査が行えるように、履修生と議論しながら、調査協力者に負担をかけない調査方法を決定し、実際に調査を行う直前まで完了しているので、実際に言語データを収集し、収集できたデータを質的分析、量的分析にかけるところまで行くことを目標にする。履修生は収集できたデータの整理、分析、解釈を事前に準備して授業に出る。		
授業計画 / Schedule	1) 研究テーマ、研究課題の再確認 2) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(1) 3) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(2) 4) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(3) 5) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(4) 6) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(5) 7) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(6) 8) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(7) 9) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(8) 10) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(9) 11) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(10) 12) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(11) 13) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(12) 14) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(13) 15) 収集した調査・言語データの整理、分析、解釈に関する議論(14) 16) なし		
成績評価基準 / Assessment criteria	博士論文の進捗状況と内容の深化・進化の程度		
教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	特に無し		

課程 / Program	博士後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度1期、2024年度2期
授業区分	週間授業	合併講義等	合併授業
授業名 / Subject	研究指導グローバルコミュニケーション		

授業担当教員/Faculty	鈴木 茂
----------------	------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>学術研究の基本的な手法として、政治学で用いられている「推論」の方法について学びます。テキストとして、久米郁男『原因を推論する』（有斐閣、2013年）を章ごとに読みます。</p> <p>政治学における「推論」の方法を理解し、論文作成に活かせるようにする。</p>
--	---

授業計画 / Schedule	<p>久米郁男『原因を推論する－政治分析方法論のすゝめ』（有斐閣、2013年）を章ごとに読みます。</p> <p>第1回 授業の説明</p> <p>第2回 第1章 説明の枠組み</p> <p>第3回 第2章 科学の条件とは・反証可能性</p> <p>第4回 第3章 観察・説明・理論</p> <p>第5回 第4章 推論としての記述</p> <p>第6回 第5章 共変関係を探る</p> <p>第7回 第6章 原因の時間的先行</p> <p>第8回 第7章 他の変数の統制</p> <p>第9回 第8章 分析の単位、選択のバイアス、監察のユニバース</p> <p>第10回 第9章 比較事例研究の可能性</p> <p>第11回 第9章 (一) 比較事例研究の差異法</p> <p>第12回 第9章 (二) 比較事例研究と合意法</p> <p>第13回 第10回 単一事例の用い方</p> <p>第14回 討論 論文にいかにか活かすか</p> <p>第15回 まとめ</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	毎回の授業での報告と討論をもとに評価します。
------------------------------	------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	久米郁男『原因を推論する－政治分析方法論のすゝめ』（有斐閣、2013年）
---	--------------------------------------

課程 / Program	後期課程	開講年度・学期 / Semester	2024年度 1期、2024年度 2期
授業区分	週間授業	合併講義等	なし
授業名 / Subject	研究指導 グロコミ		

授業担当教員/Faculty	大岩 昌子
----------------	-------

授業概要並びに到達目標 / Course Outline and Goals	<p>博士後期課程では、前期課程での研究内容をいっそう深め、特に、言語音声に関する研究を円滑に実施できるように各期15回のリサーチワークを行う。まずは、受講生が設定した研究課題ごとに研究計画を立て、特に最新の先行研究の収集・分析を行う。その後、研究仮説と研究方法を決定、さらに、データ収集と結果分析を進めていき、その考察が適切に行えるよう指導する。毎回の授業終了時に必ず課題をもとに、次回の授業を進める方法をとる。課題の結果は報告書の形にまとめ、授業内あるいは外部でも積極的に発表してもらおう。発表に対するフィードバックを盛り込むことで報告書をさらに精緻化し、博士論文の執筆につなげていく。</p> <p>両学期とも、第14回のみ、ZOOM による双方向講義となる。受講登録をした受講生には大学の電子メールで授業開始前にも連絡する。</p>
--	--

授業計画 / Schedule	<p>(1期)</p> <p>第1回 ガイダンス 第2回 研究計画の立て方 第3回 音声習得に関する先行研究の整理 第4回 音声習得に関する先行研究の検討 第5回 研究仮説の設定の仕方 第6回 研究方法の検討 第7回 データ収集の方法 第8回 実際のデータ収集 第9回 データの統計分析方法 第10回 結果と分析 第11回 考察と課題 第12回 引用文献の整理 第13回 研究報告書の検討 第14回 研究報告書の作成 第15回 研究発表と課題の検討</p> <p>(2期)</p> <p>第1回 ガイダンス 第2回 研究計画の立て方 第3回 音声習得に関する先行研究の整理 第4回 音声習得に関する先行研究の検討 第5回 研究仮説の設定の仕方 第6回 研究方法の検討 第7回 データ収集の方法 第8回 実際のデータ収集 第9回 データの統計分析方法 第10回 結果と分析 第11回 考察と課題 第12回 引用文献の整理 第13回 研究報告書の検討 第14回 研究報告書の作成 第15回 研究発表と課題の検討</p>
-----------------	---

成績評価基準 / Assessment criteria	授業中の取り組み、課題への対応、レポートの成績を総合的に判断して評価する。
------------------------------	---------------------------------------

教科書（参考書） / Textbook/Reference Materials	主に、最新の論文を扱う。
---	--------------